

あなたも自治体議員へ

候補者募集!

地域政党おおいた。

仕事を終えて家に帰ったとき、
日常生活で感じた疑問を
議会から役所（役場）へ
届けること。

こうしたら、
もっと地域（市・町・村）が
良くなるんじゃないの？

それを提案すること。これが自治体議員の原点です。

経験なんて、まったく不要です。

私たち「地域政党おおいた。」の政策の優先判断は、「大分が第一」。

5年先、10年先、20年先の「未来への責任！」です。

いま、政治未経験の人たちが手をあげています。

志のあるあなたも一緒に、一番身近な市町村の議会へ第一歩を共に踏み出しませんか。
しがらみも、私利私欲もない、地域政党の門を叩いてください。心からお待ちしています。

地域政党
おおいた。
Regional political party Oita

◎候補者公募は、
「地域政党おおいた。」の
ホームページを御覧ください。



地域政党おおいた。基本理念

1. 大分のことは大分で考え、大分で決める
2. イデオロギーに左右されない、地域政党の責務
3. 地方自治の進化と挑戦
 - (1) 地方分権と地域主権
 - (2) 中央集権の限界
 - (3) 翻弄される地方自治と地方自治法改正の影響
4. 自治体議会に求められる新たな役割

※基本理念はホームページをご覧ください。

政策 未来への責任! 7つの挑戦!

- 大分のことは地域で考え、地域で決める、市民が主役の政治へ -

「地域政党おおいた。」は、自治体議会の議員定数をはじめ、痛みを伴う改革を前提に、県下の基礎自治体へ、指示待ちではない地方政府としての意識の醸成と行政力向上を求めています。そのためには、対峙した議員自身が政策能力を身に付ける不断の努力は言うまでもありません。

私たちは、昭和の時代に遡ったような旧弊な大型公共事業にはくみしません。子ども子育て世代をはじめ、すべての住民のいのちを大切にする政治を最優先とし、将来世代にツケ（負担）を先送りしない、大分が持続できる身の丈に合った財政運営を目指します。この取り組みは、私たちのふるさとを守り、次の世代に誇れる大分県を築くためのものです。

1. ひとを大切にする温かい政治
2. 安全・安心な暮らしの実現
3. 未来を見据えたインフラと技術革新
4. デジタルで拓く新しい社会
5. 地球に優しい持続可能なエネルギー政策
6. 透明性と信頼性の高い議会改革
7. 大分から始める地域主権の社会構築



紙面の都合上、政策すべてをお知らせできません。QRコードや「地域政党おおいた。」から検索してください。

地域政党おおいた。綱領（前文）

大分のことは大分で考え、大分で決める。お互いを尊重しあう、地方自治にふさわしい自主自立の大分を創ることが、県民・市民一人ひとりの幸せ感を高め、豊かなまちを築く。この理念を基に国政政党に与することなく、市民が主役の社会の実現を目指す。これが「地域政党おおいた。」です。

地域政党おおいた。綱領

- 一、 私たちは、イデオロギーにとらわれず、地域のことは地域で考え、地域で決める。地域主権型社会の実現を目指す。
- 一、 私たちは、一人ひとりがかけがえのない個人として尊重され、互いに支えあい共に生きる地域社会を創る。
- 一、 私たちは、これまでの地域を築いてきた先達に奉謝し、子ども子育て世代や将来世代の政策実現に取り組む。
- 一、 私たちは、少子高齢化・人口減少社会に対応し、持続可能な地域社会の実現を目指し、透明性の高い地方議会への変革を推進する。
- 一、 私たちは、既存の国政政党に与することなく、旧弊の大型公共事業から、いのちを大切に
する政治を最優先とする。

令和六年七月 地域政党おおいた。

地域政党おおいた。サポーターも募集しています



本年7月7日、「地域政党おおいた。」は、大分県下に初めての地域政党として誕生しました。

既存の国政政党がイデオロギーに左右される中、市町村の自治体議会には、政党政治は不要です。国政の判断よりも、大分にとって大切なことが政策判断の第一義です。

未来への責任として、住民のいのちを大切にす政治を、そして市民が主役の政治を実現します。

これが無所属無党派の政策立案集団「地域政党おおいた。」です。

「地域政党おおいた。」結党に当たって

私たち「地域政党おおいた。」は、大分の未来を住民自身の手で築くことを目指しています。大分の課題を地域で解決する－それが、私たちの目指す「大分第一主義」です。これは私たちの心の奥底から湧き上がる強い思いです。

能登半島地震での政府の初動の遅れ、今なお苦しむ被災者の状況に、誰もが「このままではいけない」と感じているのではないのでしょうか？ こうした事態を二度と繰り返さないために、自分たちの手で未来を選び取る必要がありますと強く感じています。

国が地方を一律に管理しようとする時代は終わりました。地域には、その独自の歴史や豊かな文化、大切な価値観があります。しかし、トップリーダーの首をすげ替え刷新感を見せかけても、官僚主導の中央集権的な政治では、自治体ごとの実情が十分に考慮されず、地域それぞれの本当の魅力や価値が見過ごされてしまいます。

これまで、地域が自らの道を選び、主体性と当事者性を持って「自立」していくことが求められてきました。大分が生き残る地方創生は、自治体職員の高い意識改革が必要です。一方で、議会も変革し、議員に高度な政策形成能力が必須であることを、議員自らが自覚することも求められます。

全国的に少子高齢化や人口減少が進み、社会保障制度の維持が難しくなっています。私たちは、この問題を地域ごとに考え、その解決策を見つけることができると信じています。過去の歴史を振り返れば、各地域の人々は限られた資源の中で必死に工夫し、地域を発展させてきた独立不羈という時代がありました。私たちはその精神を受け継ぎ、住民の皆さんと共に、新しい未来を切り開いていきます。

私たち「地域政党おおいた。」は、これまでの固定的な考え方や思想にとらわれず、政党の枠を超えて大分のために全力を尽くします。皆さんと共に、大分の未来を考え、行動し、より良い大分県を築いていきたいと考えています。

あなたとあなたの家族を第一に考えた政策を実現するため、私たちは地域の声に耳を傾け、その声を反映した政策づくりを進めていきます。

地域政党おおいた。代表 衛藤 延洋

